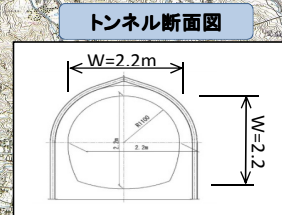
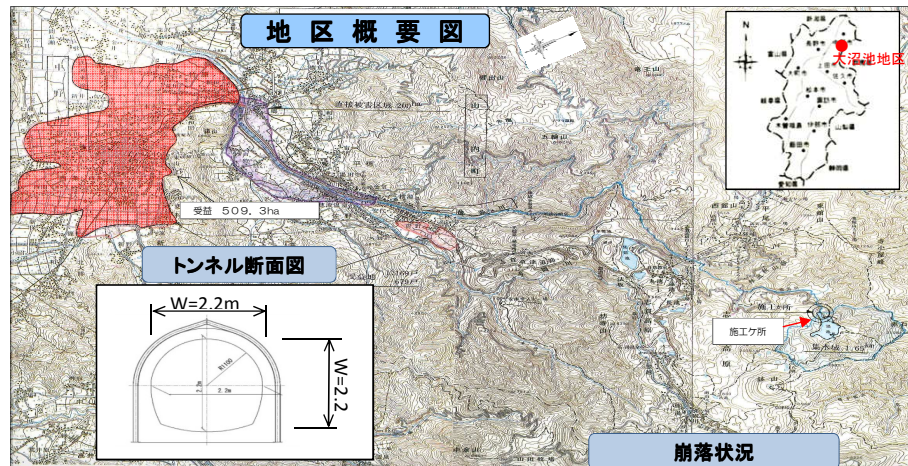


(様式2)新規評価シート

農整部 農地整備課

事業名		県営かんがい排水事業		路河川名等					
事業毎の通番		2	市町村名	中野市・山ノ内町	箇所名(ふりがな)	大沼池(おおぬまいけ)			
事業概要	事業目的	中野市八ヶ郷土地改良区では、志賀高原に降った雨水を大沼池等のため池に貯水し、夜間瀬川へ一旦放流した後、同河川から取水して使用している。平成26年8月に、大沼池の取水隧道の放水口近くで崩落が確認され、隧道の使用を中止している。現在かんがい用水は、余水吐からの越流水のみを利用しているが、渇水期には余水吐からの自然流下が見込めないため水不足を来している。このため、用水路(取水隧道)の改修を行い用水の安定供給を図る。							
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	自信と誇りを持てる信州畜産物の生産		事業実施の根拠法令等	土地改良法 農山漁村地域整備交付金実施要綱				
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、中野市総合計画、第5次山ノ内町総合計画							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	中野市八ヶ郷土地改良区が管理する区域 受益面積 A=509.3ha							
	着手年度	H29	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	H32	費用対効果	1.2	国庫	その他	県債	一般財源	
	全体事業内容(主な工種)	用水路工(隧道) L=155.1m			260,000	130,000	65,000	58,000	7,000
	年度事業内容(主な工種)	測量設計 一式			20,000	10,000	5,000	4,000	1,000
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物の生産性向上、維持管理費の軽減						
		間接的効果(定量的・定性的)	耕作放棄地の発生防止、農業集落の定住促進						
評価の視点	必要性	○受益戸数:1016戸 ○受益面積:509.3ha ○地域用水機能:生活用水、防火用水					評価	A	
	重要性	○用水不足:最上流部であり受益面積の100%に影響 ○関連計画等: 第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、中野市総合計画、第5次山ノ内町総合計画 ○人・農地プラン:平成28年3月見直し ○日本型直接支払制度:多面的機能支払交付金 9地区、中山間直払い 14集落					評価	A	
	効率性	○費用便益比(B/C):1.2 ○事業期間:4年間(H29~H32) ○工法等の比較:隧道の構造検討					評価	B	
	緊急性	○近年の自然災害:H26 1回 ○現況排水能力:現施設の通水断面の100%以上 ○用水の状況:未改良					評価	A	
	計画熟度	○事業情報の共有:八ヶ郷土地改良区の合意、関係機関へ説明済み ○地域の取組:市町の協力体制が整っている ○地域の合意形成:八ヶ郷土地改良区において事業目的について合意形成済み ○住民との協働:地域住民が参加した維持管理活動					評価	B	
	部意見	取水隧道の崩落により農業用水の供給に支障をきたしているため、必要性・緊急性が高い。	行政改革課意見	取水隧道の崩落により農業用水の安定供給に支障をきたしていることから、必要性、重要性が高く、緊急性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A	

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)



事業概要説明図表

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	取水施設の隧道は昭和4年に建設されてから約90年経過しており、平成26年8月には崩落が確認された。地域の基幹的な水利施設であり、早急な改修を必要としている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	施設を管理する中野市八ヶ郷土地改良区がより要望がだされ、土地改良区が主体となり、改修計画を組合員へ説明するとともに関係機関や地域住民との調整を行っている。受益地である中野市においても協力体制を整えている。
③事業説明等の経緯	H26年度:環境省志賀高原自然保護官事務所に事業概要を説明 H27年度:(一財)和合会へ状況説明をし、事業実施にあたり協力を要請 H27年度:土地改良区理事会、総代会、関係する地元関係者へ説明 H28年度:長野県北信建設事務所と実施設計の協議を予定
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、中野市総合計画、第5次山ノ内町総合計画に基づき、用水の安定供給が急務となっている。下流の受益内では、ストックマネジメント事業 八ヶ郷地区を実施しており、本地区を改修することで効果が発現する。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	本地区の取水施設は、国立公園内に設置されており、施設付近は重要な観光資源であることから、環境省や観光部門と調整を行い事業を実施。
⑥地域活性化への影響と配慮	地域の基幹的な水利施設であり、用水を安定供給することで果樹等の園芸作物の生産が振興され、耕作報知器の発生防止や農業集落の定住促進が図られる。
⑦その他	事業代表地点の緯度経度 北緯:N 36° 42'30" 東経:E 138° 31'29"